

# 行政改革の重要課題事業一覧【第1弾】

## 受益者負担の割合の見直し

H29度試算

No	事業名	収支の概要と課題	1人当りの 支出額	利用者数	支出	収入
3	マラソン大会事業	<p>市民団体や民間団体による有料の類似事業がある。 受益者の負担が必要(参加費 無料)</p> <p>見直しの例 参加者全員を有料化した(500円)場合 (負担割合) 1,760人 × 500円 = 880,000円 (94.9%)</p>	527円	1,760人	926,900円	0円

**行政改革の重要課題 事業名**

**マラソン大会事業**

**【行政改革指針の重点課題項目】**

- ・1 経営改革の推進
  - (1) 受益者負担の適正化
- ・2 財政改革の推進
  - (2) 既存事業の見直し

**取組の内容**

令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">①運営内容、有料化の検討、方針決定</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">②新たな運営の実施</div>		
→		→		
① 運営内容、有料化の検討、方針決定		参加者の状況の詳細を調査し、現状を分析する。また、他の自治体や民間が実施している同様の事業を調査する。 これら結果を踏まえ、運営内容見直し、有料化の方針を決定する。		
② 新たな運営の実施		決定した方針に基づいた運営を実施する。		
※ その他		検討にあたっては、『いつ、誰が、何を検討した』かについて、記録しておくこと。 有料化を前提にして事務を進めること。 有料化にあたっては、「使用料及び手数料の適正化に関する方針(案)」を参考に料金設定すること。		